

築地セントラルスクエア

TSUKIJI CENTRAL SQUARE

ホテル京阪 築地銀座グランデ

HOTEL KEIHAN TSUKIJI GINZA GRANDE

概要

- 宿泊特化型ホテル 客室数:297室
- 敷地面積:1,672㎡
- 延床面積:11,404㎡
- 地上14階・地下1階 鉄骨造(制振構造)
- 設計:株式会社 松田平田設計
- 施工:三井住友建設 株式会社、株式会社 九電工

R階	屋上庭園
3~14階	客室
2階	レストラン・フィットネスルーム他
1階	エントランス他
地下	機械式駐車場、機械室、防災備蓄倉庫

基本コンセプト

建主側、運営側が共有するコンセプトを
具現化するデザイン、設計を随所に採用

ビジネスホテルを超えるグレード感

江戸の「粋」(イキ)を感じる「築地モダン」

シンプルで落ち着いた色調の上に、
時間を経ても色褪せない本物志向の品格あるデザイン

客層は、シニアミドル層の個人レジャー客、
インバウンド客(個人をメイン)、ビジネスユースが主体

国籍、世代を超えて誰からも未永く愛されるホテル

... and more



築地セントラルスクエア TSUKUJI CENTRAL SQUARE

ホテル京阪 築地銀座グランデ HOTEL KEIHAN TSUKUJI GINZA GRANDE

建 物

- 客室の大半は、バス・トイレ・洗面を独立して設置し、機能性とプライベート性を重視した構成。
- 総客室数の6割を占める標準のツインとダブルルームはパイプスペース形状の改良工夫と合わせ特注ユニットバスを採用。奥行き方向で20センチメートル、幅方向で10～20センチメートルの客室有効寸法を拡大。
- 全ての客室内に遮光スクリーン内蔵可能な窓枠を採用し客室の有効性を15センチメートル拡大。（一部の出窓タイプのルームでは30センチメートルの効果）
- 天井高さは、客室で最高3m、ユニットバスや客室廊下で2.3mを確保。大きな窓の開放感と合わせて、面積以上のスケール感が持つゆとりと魅力を感じられる客室空間を実現。
- エレベーターは、天井高さ2.7メートルの20人乗り大型機種を採用。シックな和のしつらいと合わせゆとりと高級感を演出。
- 1階のエントランスロビーは天井高さ4mの贅沢なオープンスペースで設計。並行する歩道に面して天井までの大きな格子戸で和を表現しながら内外の視線と光を柔らかく制御、レセプション周りの名栗壁、石壁面に展示の小畠泰明氏（日展特選受賞作家）による金工作品等の効果とも合わせさらに奥深い和を表現。
- 東側（築地川公園サイド）の客室には聖路加国際大学チャペル、湾岸の夜景や築地川公園の桜等を楽しめるよう、視界を遮らないカーテンウォールによる床から天井までの大きなガラス窓を採用。
- 築地川公園側の外構をエントランスロビーと連続した和風庭園として造り込み、開放的な全面ガラスで内と外を一体化。築地川公園につながる季節感あふれる緑と水の演出でロビー内から広がる和の景観を演出。（2階レストラン部分も同様）
- 宿泊客に観光情報を提供する落ち着いたギャザリングスペースをロビー内に設け、中央区からの要請にも対応。
- 効果的に配置した公開空地や歩道上空地は、豊かな緑に囲まれた魅力ある街づくりにも貢献。
- 屋上に湾岸エリア・スカイツリー・銀座・丸の内まで四方に開いた視界を持つ庭園と、風を受けずにゆっくりと景色を楽しめるガラスで囲われたウッドデッキテラスを配置、都心の風景を存分に楽しめる場所を創造。
- 通常建物の1.5倍の構造重要度係数（耐震基準）を確保、さらに制震構造の採用により大地震時の揺れも軽減。災害に強い安全且つ長寿命建築を実現。
- 非常用発電機は災害停電時に長時間の電源供給が可能、また宿泊者と帰宅困難者受け入れを想定し十分な防災備蓄スペースを地下に整備。

- 屋上には太陽光発電パネルを設置し共用部の電源を補助、また、建物内照明器具をすべてLED化し省エネルギー建築を実現。
- 身障者対応客室を5室、1階に多目的トイレ、2階に授乳スペースを整備し、人に優しいユニバーサルデザインを実現。

照 明

SIRIUS LIGHTING OFFICE 社

東京スカイツリーをはじめ、著名な建物・施設を国際的に手掛けている

シリウスライティングオフィス社に依頼、照明デザインコンセプトを「御簾の向こう」としました。日本古くから伝わる伝統文化である「御簾」。奥に控える格式高い空間への期待感と、視線を完全に遮るのではなく、透け感を残すことで奥の気配をわずかに感じさせる日本独自の奥ゆかしさや美意識を表現しています。外観では2階部分を覆う縦フィンと1階部分の木格子が上方からの光によって照らし出され、品のある外観を構築し、その隙間から奥の様子を伺うことが出来ます。行灯のように優しく灯る風除室を抜けると、間接照明によって美しく照らし出させた木の名栗壁が空間を照らし出し、ダウンライト等の機能的な光を徹底的に排除することによって、洗練された無駄のない和の陰影美を堪能できる空間に仕上がっています。

外 構

hondaGREEN社

ビルの立ち並ぶ東京にも心地よい和の風景美をおしつけがましくなくさらりと創ることが「いき」であるとし、鎌倉をベースとして活躍する新進気鋭の植栽デザイナー**ホンダグリーン社**に依頼。多種の植栽のなかに和を感じる最も象徴的な要素としてサクラとモミジを庭園内の要所に配置し、またそれに合ったシックな風合いを持つ富士黒石をふんだんに使用、積み石、敷石、景石と、「いき」を感じる石使いでホテル全体の足元を引き締めました。花を咲かせ実を結ぶ季節感溢れる植栽に、豊かな表情を持つ石が添えられ、季節ごとの日本の自然風景を随所に再現しています。

NSSI

NAKAGAWA SPECIAL STEEL INC.
中川特殊鋼株式会社